

ストリートチャレンジ2021から見てきた「期待」や「課題」

10月22日～11月12日に社会実験ストリートチャレンジ2021を一宮駅前・銀座通り・本町通り・葵公園・夢織り広場などの駅周辺の公共空間を開放して行いました。イベント・マルシェ・体験ワークショップなど、さまざまな活動から見てきたまちなかへの期待や課題など、まちなかに訪れてもらった方や実験を行ってくれた方々から、いろんな意見を頂きました。



公共空間を開放したら…



新たなまちなかの風景がうまれました

● 来街者の声

どのような「まちなか」に生まれ変わればもっと訪れたい？

- ・ イベントが盛んに行われている…65%
- ・ ここにしかない魅力的な店が集まる…49%
- ・ こどものあそび場と合わせて大人も楽しめる…35%
- ・ 緑豊かな空間…33%



● 実験実施者の声

期待

- ・ 一時的なイベントではなく、日常の魅力へ
- ・ 一宮らしさが文化につながる
- ・ ポテンシャルがある駅前公共空間を民が使いやすく

課題

- ・ まちなかに興味がない
- ・ 情報発信、告知方法が不足、回遊マップがない
- ・ 駐車場、空き家、駅ビルなどの既存施設の利活用